

特定非営利活動法人

ひらかた市民活動支援センター

設 立 趣 旨 書

社会の複雑化と流動化に伴うニーズの多様化、自らの好みと価値観に基づいて行動する市民、私たちを取り巻く社会は今大きな変化の中にあります。このような社会において行政・企業が提供できるサービスや情報と、市民のニーズに大きな落差が生じるのは当然のことでしょう。これを埋めるには、互いの立場や価値観を尊重し、柔軟で機動的な活動が可能な新しいセクターの存在が不可欠です。ここに、社会貢献活動を行う民間非営利組織としての市民活動団体、NPO発展の意義があります。このように、新しい市民社会実現の担い手として期待を寄せられながら、NPOは未だ行政・企業に次ぐ第3のセクターとしての評価には程遠いものがあります。NPOがこの期待に応え、社会貢献できる姿を求めてその支援のための中間支援組織立上げが各地で始まっています。

私たちは、枚方市において、市民活動が盛んになり、多くのNPOが生まれ育ち、自立した市民による新しい市民社会が実現することを願い、

人と人々が支え合い心豊かにともに生きるまちの「わ」（和と輪）を 市民の知恵と活力を結集した市民活動の面から広げていこう

と、2000年11月より鋭意検討を重ねてまいりました。

そしてここに、多様な価値観の並存を受容する新しい市民社会実現の担い手としてのNPO誕生・発展を支援することを目的とし、行政・企業とのパートナーシップをもとに、活動の組織的基盤をより一層確立し、自らも情報公開と責任ある体制を築き、同時に幅広い市民の参加を願って、中間支援組織、特定非営利活動法人「ひらかたNPOセンター運営協議会」の設立を決意いたしました。

この目的達成のために、私たちはNPOの創設・運営支援、民・官・産・学との連携、地域社会とのネットワーク構築、市民に対する市民活動参加のための情報提供、これらのための情報収集・提供、調査・研究等の事業を市民とともに実施し、市民の期待に応え、地域社会に貢献してまいります。

平成14年8月4日

特定非営利活動法人ひらかたNPOセンター運営協議会
設立代表者 宮本利明
特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター